

松葉学園グループ

集合広報集落

松葉村

心の目を磨く

松葉学園施設長 佐藤真実

先日、久しぶりに映画に出かけ、ディズニー映画の実写版「美女と野獣」を見てきました。二人の対照的な男性が登場します。一人は、もちろん野獣。魔法をかけられ、恐ろしい外見となってしまいましたが、次第に心の優しさやたくましさを取り戻します。もう一人は、男前で人気者。しかし、その心は冷たく、醜い。嘘つきで、自分の利益のためなら平気で人をおとし入れていくのです。

この映画のテーマの一つは、外見や上辺など表面的なものにとらわれず、物事の本質を見続けることの大切さや見抜くことの難しさだと言われています。本質を見抜くには、心の目が必要です。映画の中でも、何人かの登場人物が、「見た目に騙されてはいけない」「美しさは、人の内にある」「心の目でみつめ、心の中で感じる」みたいなセリフを言っていました。

映画を見て、私達の福祉の仕事にもこの「心の目」はとても必要で、「心の目」を養うことが、松葉学園基本理念「共に考え、共に生きる」をより一層具体的に実践していくことにつながると思いました。利用者の方が、何をしたいのか、なぜそうするのか、好きなのか、嫌いなのか、何を望んでいるのかを感じとれるかどうか。目の前にある課題や問題の内に潜むものを捉えることができるかどうか。今私達にとって一番必要な専門性は、利用者の方の思いに気付く力です。利用者の方の心に上手に寄り添える力です。

そして、利用者の方と生活や行動を共にすることで、その力を磨いていきたい。ご飯を食べる、話をする、遊ぶ、趣味に親しむ、スポーツをする、散歩する、働く、テレビを見る、勉強する、寝る、歌う、笑う等々、特別なことではない日常と一緒に過ごすことで、お互いの喜怒哀楽を知り、いっぱい心の目を磨き、内面の思いに気付く力を高めていきます。

やりたいこと、したいことは一緒に楽しみ、だめなことやできないことはきちんと伝え、どうすればいいか一緒に考える。子どもも大人も、若くても年をとっても、いつでも楽しく生き生きできる、心地よさを感じることができる松葉学園をめざします。

平成29年度もよろしく願いいたします。